

管理所レビュー VOL.11

(R1.9.18 水源林管理所)

今年度の第12回となるボランティア活動が、9月7日(土)に予定どおり実施されました。当日は、久しぶりに真夏のような陽射しが照りつける蒸し暑い中での作業となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

8日～9日にかけて関東を直撃した台風15号は、各地に大変な被害をもたらしました。幸い道志村は大事には至りませんでした。横浜市には大きな被害が出た地域もあり、身近な地域での出来事に大変驚きました。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 63名のご参加、ありがとうございました！



真夏のような陽射し。



道具の装着と準備体操をしっかりと！

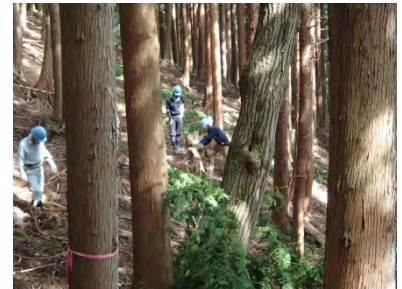


始まりの会では、体調の報告も！

2 当日の作業の様子。



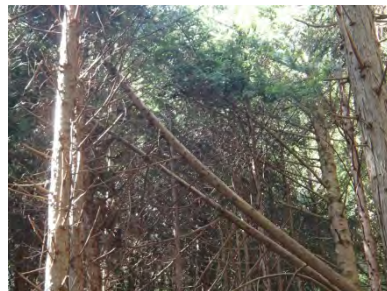
受け口切りは周囲のアドバイスが大事！ 追い口切りの高さ調整も重要です。



狭い場所に見事に伐倒！



かかり木発生！どちらも安全に処理されました。



道具の破損は必ず報告を！

3 ご参加、ありがとうございました。

今回の活動に、株式会社サンコウ様が参加されました。サンコウ様は今年3回目の参加となります。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするためのこの活動が、様々な方面の方の参加により、ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、親切、丁寧なご指導ありがとうございました。



株式会社サンコウ様。(掲載許可済み)

4 令和元年上半期における林業・木材製造業の死亡労働災害分析結果と対策について

前回レビューで紹介しました林業・木材製造業労働災害防止協会発行 2019 年〔林材安全 8 月号〕「平成 30 年林業・木材製造業の死亡労働災害分析結果について」に引き続き、〔林材安全 9 月号〕に「令和元年上半期における林業・木材製造業の死亡労働災害分析結果と対策について」が掲載されました。間伐作業に関連する部分を一部抜粋して紹介しますので、今後の作業の参考にしてください。

【令和元年上半期林業死亡労働災害の概要】

平成 30 年林業死亡労働災害は 31 件で、うち伐木造材作業が 18 件、そのうち自己伐倒によるものが 13 件となり、例年より大幅に減少しました。しかし、令和元年 1 月～6 月の上半期にはすでに 16 件の林業死亡労働災害が発生し、うち伐木造材作業が 13 件、そのうち自己伐倒によるものが 11 件発生したようです。今回は自己伐倒による災害 2 件を紹介します。

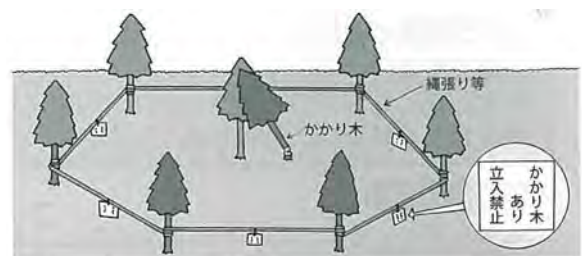
《自己伐倒事例》

①被災者はチェーンソーを使用しての伐倒作業中、樹高 28m の伐倒木が樹高 23m のスギにかかり木となったが、そのまま放置し、隣接する他の立木を伐倒しての移動中、当該かかり木が外れて落下し、被災者に激突した。

<原因と対策>

自己伐倒中、かかり木となり、そのまま放置して他の作業を行っているとき、放置していたかかり木に激突される災害が過去にも発生している。

かかり木が発生したら、速やかに処理するか、もし諸事情で処理できない場合、立ち入らないようにテープ等で明らかに分かるように表示しておくこと。



テープ等による立入禁止の措置

②被災者が胸高直径 40 cm、樹高約 25m のスギを伐倒するため、受け口、追い口を切った後、被災者がクサビを 1 本使って倒そうとしたとき、予定していた伐倒方向から 45 度左側に変わって倒れ、被災者に激突した。

<原因と対策>

伐倒方向に向けて正確に切られた受け口に対して、切り残し（つる）の幅が平行であれば予定していた伐倒方向へ倒れるが、切り残し（つる）の幅の片側が狭くなれば、狭い方から早くちぎれることとなる。

伐倒目標方向へ倒すためには、その方向に向かって正確に切られた受け口に対して、切り残し（つる）幅を平行に残す事が重要である。

また、クサビを使用する時は、同じ大きさのものを 2 個以上用い、伐倒方向へ均等に重心を移動させること。



切り残し（つる）の幅は平行に！

「林業・木材製造業労働災害防止協会 林材安全より一部抜粋」

※ かかり木発生時、処理が困難な状態や時間の関係などから放置せざるをえない状況となった場合には、管理所職員と現地指導員に報告をお願いします。

また、伐倒目標方向へ正確に倒すため、インストラクターは、伐倒方向への正確な受け口切りと、その受け口と平行で適正な幅の切り残し（つる）を残すように指示してください。切り残し（つる）は、切り過ぎないように注意してください。

※ 9 月 25 日（水）は、曇り時々晴れ、最高気温 24 度、降水確率 20% の予報となっています。

★それでは 9 月 25 日、気をつけてお越しください。